

2007年12月4日
宝印刷株式会社
株式会社日立製作所

**宝印刷・日立は、有価証券報告書・四半期報告書のXBRL化に対応するため
情報開示ソリューション分野で業務提携を発表**

宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区 代表取締役社長 堆 誠一郎(あくつ せいいちろう)、以下：宝印刷）・株式会社日立製作所（本社：東京都千代田区 執行役社長 古川 一夫、以下：日立）の2社は共同で、上場企業・上場準備企業のディスクロージャーの3大課題である「内部統制」「四半期報告書」「XBRL対応」の決算報告を開示するための業務システムのソリューションにおいて、業務提携することに合意しました。宝印刷が提供するITツール「宝決算Xプレス(宝印刷)」「Xエディター(宝印刷)」と、日立が提供する中堅規模企業向け完全Web対応ERPパッケージ「GEMPLANET」のデータ連携を推進するほか、今後、両社の提供するITソリューションの連携範囲の拡大をはじめ、両社の共同プロモーションや関連サービスのSaaS検討など、進めていきます。

今後両社のセミナーなどで、連携による具体的なサービス内容を順次発表していく予定です。

1. 制度的背景

(1) 有価証券報告書の適正性に関する内部統制監査対応

平成20年(2008年)4月1日から開始する事業年度より、金融商品取引法に基づいて、有価証券報告書の適正性に関する内部統制監査が実施されます。各企業では、そのための体制作りが急務となっており、特にITによる統制が求められています。

(2) 四半期報告制度への対応

平成20年(2008年)4月より始まる「四半期報告書」制度により、「45日以内にEDINET開示」を行わなければなりません。すなわち、四半期決算短信公表後、四半期報告書をEDINET開示するためには、これまでよりスピーディに決算数値を確定する必要があります。そのためには、会計データから財務データ作成までシームレスにかつシステム化されていることが求められています。

(3) 有価証券報告書・四半期報告書のXBRL対応

金融庁は、平成20年(2008年)4月以降有価証券報告書・四半期報告書のEDINET提出を財務諸表部分についてXBRL形式にすることを決定しています。XBRLデータは、これまでのHTMLデータとは異なり、データの分析・比較が可能となり、その利用範囲の拡大が期待されています。

しかしながらXBRLデータ作成には、そのためのツールが必要となります。当該ツールにより、簡単に、早く、正確にXBRLデータを作成できることが求められています。

2. 本提携の主旨



- (1) ERP パッケージ「GEMPLANET」の会計管理から出力した残高試算表などの会計帳簿データを「宝決算 X プレス」に読み込み、基本財務諸表を自動作成し、注記や文書情報の数値情報に自動反映させ、整合性自動チェックをします。
- (2) 「宝決算 X プレス」より、「X-Editor」への出力を実行すると、有価証券報告書の基本財務諸表および基本財務諸表以外の部分を X-Editor 連携用フォーマット形式でファイル出力します。
- (3) 「X-Editor」で有価証券報告書の基本財務諸表データを、XBRL 変換を行い、基本財務諸表以外のデータを EDINET 開示用の HTML 形式でファイル出力します。
- (4) 会社の経理担当者は、XBRL ファイルと HTML 形式のファイルを金融庁への提出用の EDINET システムに置き、金融庁へ送信手続きを実行します。

< 参 考 >

XBRL とは

XBRL (eXtensible Business Reporting Language) とは、財務・経営・投資など、様々な用途に使用する情報を記述できる XML ベースの言語です。特に、組織における財務情報(財務諸表や内部会計報告など)の記述に適しています。国際組織である XBRL International から言語仕様が公開されています。

財務情報は、年度ごと、あるいは組織や業種ごとに、文書構造や項目、計算式などが異なるといった特徴があります。従来の作成方式では作成コストが多くなるだけでなく、共通化や二次利用が困難とされており、これらへの対応として、XBRL では、財務情報の作成・流通・分析・変換などに適した、XML による標準規約が制定されています。

(出所 : XBRL Japan 「 XBRL FACT BOOK 」より一部引用)

SaaS とは

SaaS (Software as a Service) とは、ソフトウェアのいろいろな機能のなかで、ユーザーが必要とするものだけをサービスとして配布し利用できるようにしたソフトウェアの配布・提供の形態で、別名はサービス型ソフトウェアとも呼ばれているものです。

商標に関する記載

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先:

宝印刷株式会社 取締役 常務執行役員 営業企画部長 青木 孝次

電話: 03-3971-3241

株式会社日立製作所 情報・通信グループ 産業・流通システム事業部 主任技師 饗庭 健司

電話: 03-5471-2372

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
